

県内女性の消費マインドはコロナ「第5波」収束により大きく回復！

～ 第46回熊本の消費予報調査－2021年11月調査－ ～

はじめに

当研究所では、毎年5月と11月に熊本県内在住の女性を対象として、今後半年間における「収入」「支出」等の調査を行っている。これらの調査結果の分析を通じて、熊本県内の女性の消費マインドの今後の見通しを探りたい。

なお、調査時点では熊本県内は9月30日に「まん延防止等重点措置」が解除され、10月15日以降に行動制限が全面解除された状況にあった。

【調査結果の概要】

1. 収入見通しは▲7.3と、前回（▲21.7）に比べて14.4ポイント（以下p）上昇し、コロナ禍直前を上回る水準となった。
2. 支出意欲は▲23.5と、前回（▲41.0）に比べて17.5p上昇し、調査開始以降で最も高い水準となった。行動制限の解除に伴うものと考えられる。
3. 支出の内容をみると、「行楽・レジャー」、「外食」、「おしゃれ着」、「化粧品・美容」、「靴・バッグ」等、外出を伴う支出意欲が旺盛となっている。
4. 旅行や高額商品の購入予定の有無では、「第6波」への警戒感からか、「国内旅行」は増加するも、他の高額商品は依然として減少傾向にある。

【調査の概要】

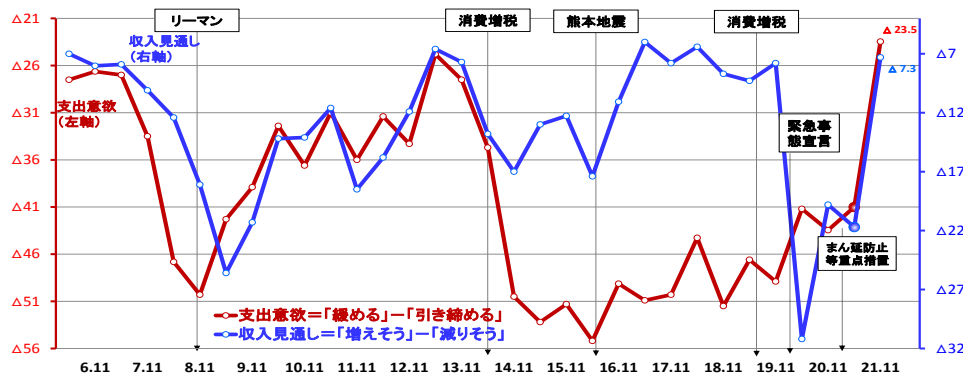
1. 調査対象：熊本県内在住の20歳以上の女性
2. 調査期間：2021年10月30日（土）～11月4日（火）
3. 調査方法：調査会社登録モニターへのネット調査（調査会社：㈱マクロミル）
4. 有効回答：520人

【回答者の属性】

年代	実数（人）	構成比（%）
20代	104	20.0
30代	104	20.0
40代	104	20.0
50代	104	20.0
60代以上	104	20.0
合計	520	100.0

図表1 今後の見通しDIの長期推移

収入見通しDI（「緩める」－「引き締める」と支出意欲DI（「増えそう」－「減りそう」）



1. 今後の見通し DI

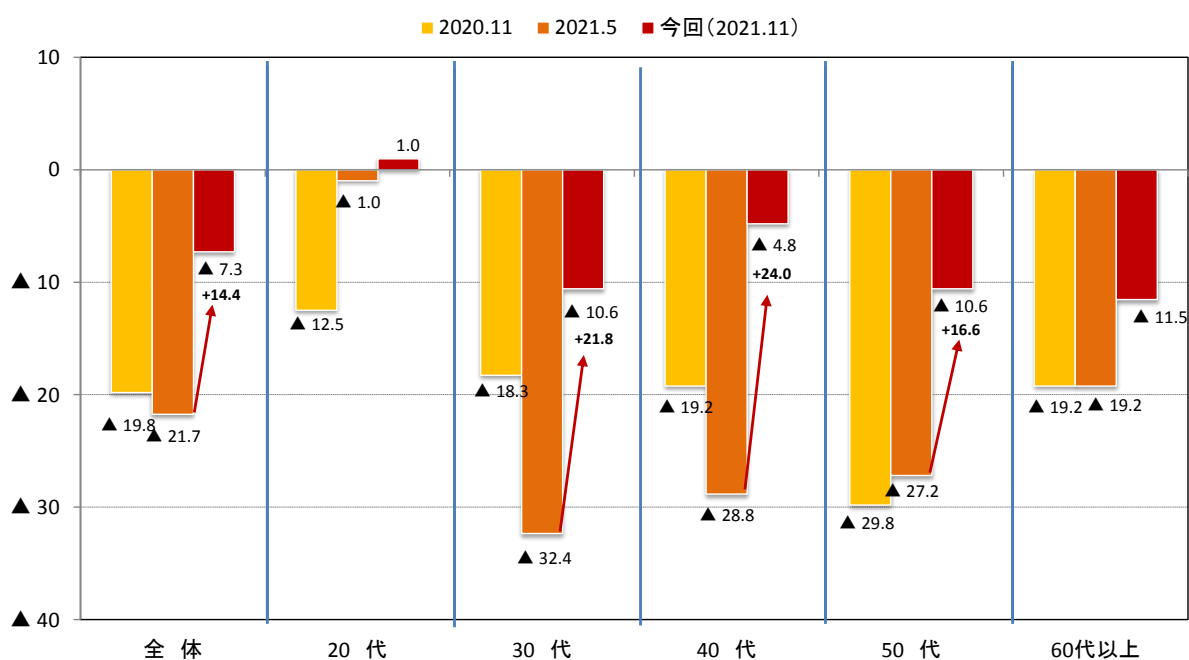
(1) 収入見通し

➤ 今後半年間の収入見通し DI は▲7.3 で、前回 (▲21.7) に比べ 14.4p 上昇した。

今後半年間の収入見通しは全世代で前回に比べて上昇した。年代別にみると、30代は▲10.6 と前回比+21.8p、40代は▲4.8 と+24.0p、50代は▲10.6 と+16.6p で上昇幅が大きくなっている。また、20代では1.0 とプラスに転じている (図表2)。

自由回答では、収入の見通しが「減りそう」と答えた層では、コロナ第5波が収束しても直ぐに企業の業績が回復しないことから、ボーナスや給料が減る見込みという回答が見られた。

図表2 収入見通し DI (「増えそう」－「減りそう」)



【収入見通しに関する主な自由回答】

収入見通し	年代	コメント
増えそう	20代	転職したから
	30代	労働時間が元に戻りつつあるから
	40代	コロナも収まってきたので働くつもりだから
	50代	昇給するから
	60代以上	年金が入るから
減りそう	20代	コロナ禍で保育園休園が続くと、会社を休むので共働きができない
	30代	ボーナスがなくなるから
	40代	コロナによって残業がなくなったり、休みになっているので激減している
	50代	コロナで収入が激減してるので
	60代以上	定年退職するから

(2) 支出意欲の見通し

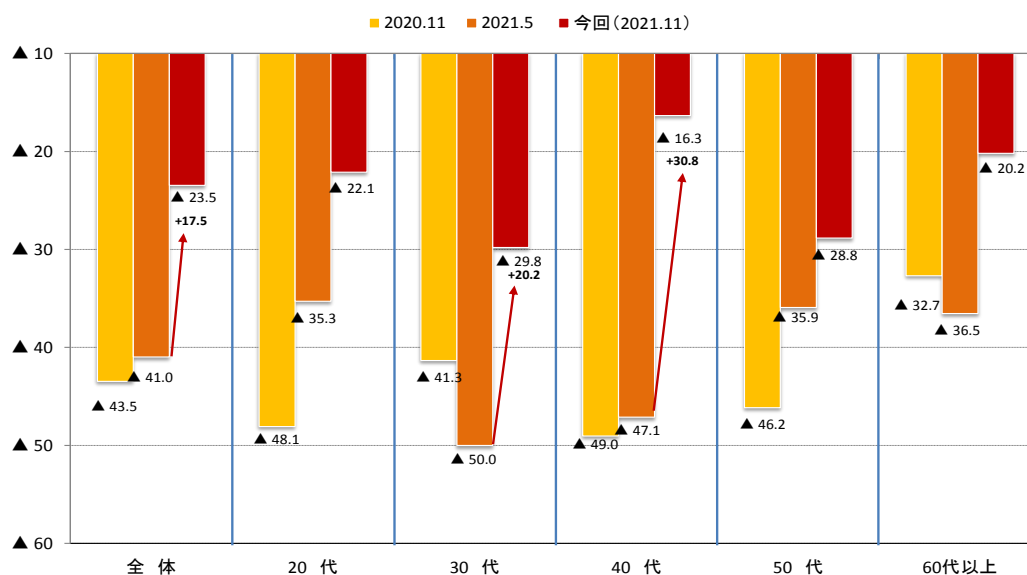
➤今後半年間の支出意欲の見通しは、▲23.5 と前回 (▲41.0) に比べ 17.5p 上昇した。

今後半年間の支出意欲の見通しは▲23.5 と前回 (▲41.0) に比べ 17.5p 上昇。全世代で大きく上昇した。

年代別に見ると、30代は▲29.8 と+20.2p、40代は▲16.3 と+30.8p となり上昇幅が大きくなっている (図表3)。

自由回答では、「緩める」「少し緩める」とした中には、行動制限の解除により旅行や外出でリフレッシュしたいという回答もあった。これらが支出意欲の回復に大きく寄与したとみられる。一方で、「少し引き締める」「引き締める」とした中には、コロナ禍の収入不安から支出を控える回答もあり、抑制基調は続いているとみられる。

図表3 支出意欲の見通し DI (「緩める」+「少し緩める」) - (「引き締める」+「少し引き締める」)



【支出意欲の見通しに関する主な自由回答】

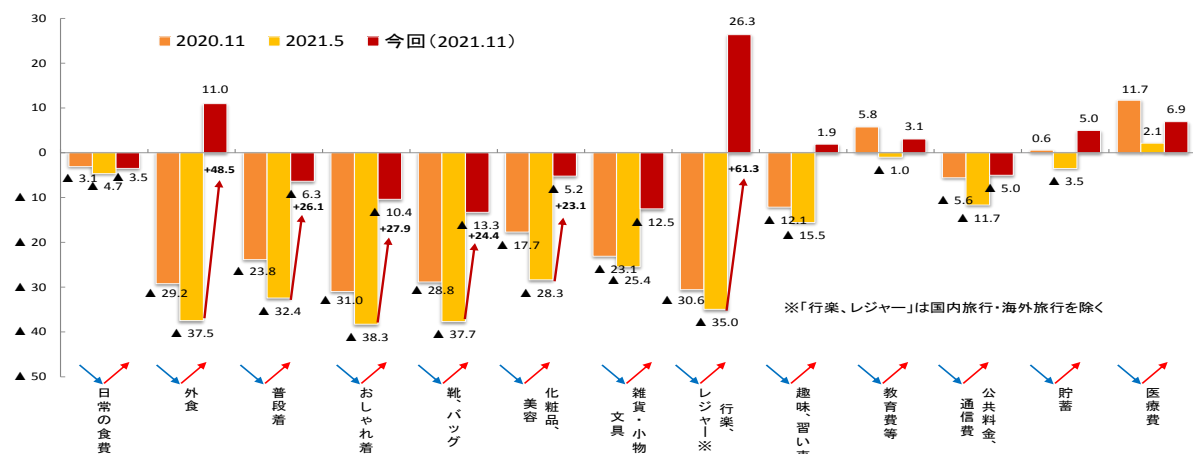
支出意欲の見通し	年代	コメント
緩める	30代	コロナが収まっているから
	40代	コロナが収まれば、ストレス発散のために使いたい
少し緩める	20代	少しずつ外食などを増やし、今まで行けなかったところに行きたい
	30代	コロナが落ち着いてきたから
	40代	コロナが落ち着いたら、外出したり、外食等を少し増やしたい
	50代	年末年始は少しだけ贅沢したい
少し引き締める	60代以上	コロナが収まって外出や旅行がしたい
	20代	貯金をしたいから
	30代	いつ収入が減ってもおかしくないので、貯蓄を増やしたい
	40代	教育資金にお金がかかりそうだから
引き締める	50代	収入が減る可能性があるから
	60代以上	老後の資金が足りなくなりそうだから
引き締める	30代	今回のコロナで何があるか分からないと思い貯蓄に回したい
	40代	これから教育費が掛かるから

2. 今後半年間の支出の見通し

➤全項目で前回に比べて上昇、特に「行楽・レジャー」と「外食」で大幅上昇。

前回調査では全ての項目で支出意欲の低下がみられたが、今回は全ての項目で上昇した。中でも「行楽・レジャー」は26.3と+61.3p、「外食」は11.0と+48.5pとなり大幅に上昇した。(図表4)。また、「普段着」「おしゃれ着」「靴、バッグ」及び「化粧品、美容」は、行動制限の解除による外出機会が増えるとの見通しから、支出意欲が上昇したとみられる。

図表4 日常的な支出の今後の見通しDI(「増やす・増えそう」-「減らす・減りそう」)

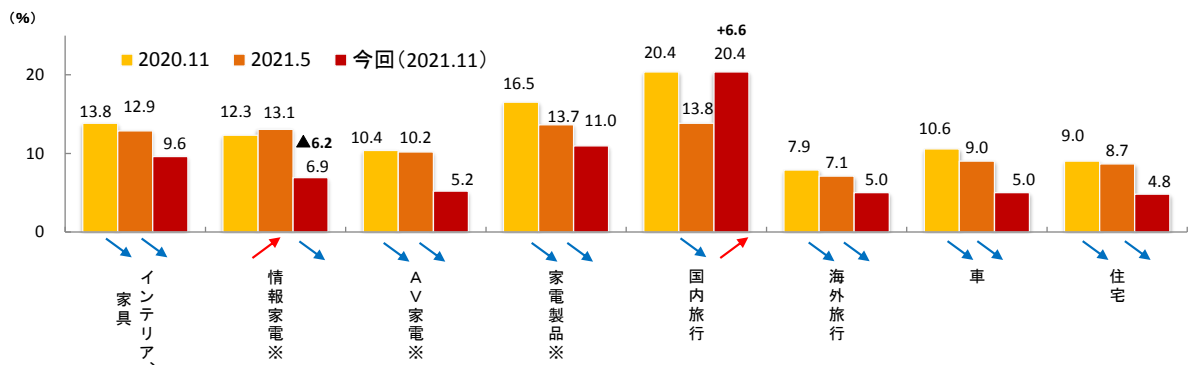


3. 旅行や高額商品等の購入予定

➤「国内旅行」は前回に比べて増加するも、「家電製品」や「インテリア・家具」等の高額商品は減少傾向

旅行や高額商品の今後の購入予定では、「国内旅行」が20.4%と前回比+6.6pとなった以外、全項目で前回に比べて減少した(図表5)。また、前回唯一増加したデジタル関連の「情報家電」は6.9%と6.2p減少した。コロナ禍のテレワーク等での需要が落ち着いた影響とみられる。

図表5 旅行や高額商品の今後の購入予定



※1 情報家電とは、パソコン、パソコン関連機器、携帯電話(スマートフォン)など。
 ※2 AV家電とは、テレビ、ブルーレイレコーダー、デジタルカメラ、ビデオカメラなど。
 ※3 家電製品とは、冷蔵庫、洗濯機、食洗機、エアコンなど、情報家電とAV家電以外の電気製品。